



[ものづくり・商い・もてなし]

景 042 (H23) 歴 020 (H23)

天明元年(1781)、若狭出身の初代松屋久兵衛が、かつて堀野家本宅であった当地に造り酒屋を創業しました。明治13年、名水を求めて伏見に酒造拠点に移しましたが、屋敷や酒道具類は今も受け継がれています。

通りに面して主屋が建ち、奥に文庫蔵、天明蔵、北蔵が並び、主屋と文庫蔵の間には、創業以来酒造りに使われてた井戸「桃の井」を配した中庭があります。

明治後期から大正初期に建てられたとされる主屋は、木造厨子2階建てです。外観は、1階に二本切り格子、2階は虫籠窓が並ぶ典型的な町家の設えで、外壁は、幕末に江戸で大流行した黒漆喰塗仕上となっています。座敷は、違い棚、床、付書院を設け、竿縁天井とした本格的なつくりで、床柱に赤松の皮付丸太、落とし掛けに真竹を用いるなど、数寄屋的な要素を取り入れています。

座敷の障子を通して一幅の絵画となるように作られた鶴亀の庭から、文政3年(1820)に建てられた趣ある文庫蔵へと続く石畳や、「桃の井」から湧き出る水の音などが、京の癒しの一時を演出しています。

平成7年に「キンシ正宗堀野記念館」を開き、江戸期以来、数多くある酒造道具類を展示し、北蔵では京都町家麦酒醸造所を開設しています。



玄関土間



鶴亀の庭



〒604-0811 京都市中京区堺町通二条上る亀屋町172

電話番号 075-223-2072

FAX 075-253-0543

アクセス 地下鉄烏丸線「丸太町駅」7番出口より徒歩7分

ホームページ <http://kinshimasamune.com/horino/>